

◆参加報告◆

第24回日赤図書館協議会：研修会に参加して

山田理佳

派遣職員として当図書館に勤務して約3年になりますが、この度日赤図書館協議会総会・研修会に初めて参加する機会に恵まれ、貴重な経験をさせていただき感謝しております。

一日目に選択した国立国会図書館の見学は、司書として初心に立ち返るのに良い機会となりました。今回の見学で入館させていただくことができた新館の書庫は、地下8階（深さ約30m）にもなり、自然光が差し込む光庭がとても印象的でした。地下は温度や湿度管理・耐震に適しているらしく、東日本大震災では、地上にある本館の書庫で180万冊もの資料が落下したのに対し、新館にある地下の書庫では1冊も落下しなかったそうです。その書庫に並んだたくさんの集密書架の中から、古い地方新聞や漫画雑誌の初号などを拝見し、資料の保存の大切さと難しさを改めて感じました。特に新聞の虫食い部分に、文字が透けて見えるほどの薄い和紙が裏打ちされているのには、「国の保存機関は修理のレベルが違う」と感服いたしました。実は昔、某大学図書館に勤務していた際に、国立国会図書館から借用した図書を利用者が破損してしまい、電話で平謝りをした経験があるのです。あの時も

このように修理して下さったのかと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。

総会・委員会活動から始まった二日目の公開講座では、耳慣れない言葉も多く、理解するのが大変でしたが、「医学雑誌の毎年の値上げのカラクリ」など、日頃から疑問に思っていたことを解説していただき、とても勉強になりました。特に目から鱗だったのが聖路加国際病院での地下鉄サリン事件の対応についてで、医療と直結している図書館の、役割の重要性を改めて認識しました。今までは利用者の「ありがとう」の一言を聞きたい気持ちだけで、受け身的な仕事をしていましたが、これからは多種多様な状況にも対応出来るよう、知識と情報の収集に努めて行こうと思います。またこの二日間の研修で、当図書館だけで完結するのではなく、各部署・各施設との連携も大切だということに気づくことが出来ました。会長である加藤先生のお言葉にもありましたように、今まで以上に他施設と協力し、図書館の質の向上を目指して病院を支援出来るよう、そしてその結果、医療の質の向上へと繋がれるように頑張りたいと思います。

最後に、この研修を企画・運営して下さいの皆様、直接お話しをさせていただいた他施設の皆様、大変お世話になりました。機会があれば、また参加させていただきたいです。

YAMADA Rika

京都第一赤十字病院 総務課 図書館

TEL: 075-561-1121(代) FAX: 075-561-6308(代)